

お知らせ

<2004年1月から2012年8月までに川崎医科大学附属病院呼吸器外科において

原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんへ>

研究課題名：肺腺癌の新たな病理学的分類（IASLC/ATS/ERS 分類）に基づく臨床病理学的検討

原発性肺癌は病理検査（顕微鏡検査）の結果に基づいて、腺癌、扁平上皮癌など様々なタイプに分類されます。このガン細胞のタイプ（組織型と言います）によって分子生物学的な特性や悪性度が異なります。さらには近年、分子標的治療薬など癌の組織型や分子生物学的特徴に応じて治療が細分化されるようになってきています。こうした背景を受けて、世界の肺癌診療をまとめる国際会議において肺癌の組織型の分類が改められました。今後の肺癌診療はこの新しい分類に沿って行われることとなります。このため、新しく分類された肺癌それぞれの特徴について今後検討を行っていく必要があります。

そこで、私達は、2004年1月から2012年8月までに当院呼吸器外科で原発性肺癌のため手術を受けられた方（一部の方は除きます）を対象として、切除させていただいた肺癌組織を、新しい組織分類に準じて再分類し、組織型毎の特徴；手術前の患者さんの状態や検査所見、さらにはその後の経過などについて検討を行います。具体的には診療記録（カルテ）と画像フィルム、切除させていただいた肺癌組織の病理プレパラート所見を用いた検討で、今後の肺癌治療をより適正化するための基盤となるデータを確立することが目的です。なお遺伝子の検索は行っておりません。本研究の結果は学会・論文等で報告する予定ですが、個人情報厳密に管理致します。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」で同意を頂いている方が対象となりますが、同意を撤回される希望のある方や本研究に同意されない方は下記連絡先までご連絡をお願い致します。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では研究資金は発生しないため、このような利益相反の状態にはなりません。

なお、この研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ていることを申し添えます。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院呼吸器外科 臨床助教 最相晋輔

電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL：川崎医科大学病院代表(086-462-1111) 呼吸器外科学実験室(内線 25519)

FAX：086-464-1124